



一般社団法人

東京キワニスクラブ

ACTIVITY REPORT

Vol. 46

2025.02 発行

情報ニュース番組でキワニドールが紹介されました



11/4(月)フジテレビの夕方の情報ニュース番組『イット!』で「キワニドール」が取り上げられました！
我々の身近で“あすをよくするために”頑張っている人を紹介するコーナー（通称アスヨク!）で、「キワニドールづくり」のレジェンドとして東京キワニスクラブの中村禎良さんが取材を受けました。孫のような田園調布学園の中高生とキワニドール作りを通して中村さんとのふれあいは病気の子もたちだけでなく、若い世代へ向けて大きな力になってくれることでしょう。

また、実際にキワニドールを使っている入院中のお子さんも取材に協力して下さいました。キワニドールは、「キワニスクラブ」の主な活動のひとつで、入院中の子ども達にプレゼントをしています。なぜ真っ白な人形なのか？なぜドールを作っているのか？2分ほどのOAで、とてもわかりやすく伝えてくれました。

成田赤十字病院のみなさま、田園調布学園のみなさま、ご協力ありがとうございました。（小林幸恵）

TV放映の反響

ニュース番組で「キワニドール」が取り上げられたことで早速複数の視聴者からドールを作りたいとの希望が寄せられました。

中村会員主導で、12月4日午後、キワニスクラブ事務局でご希望いただいたお三方にドール作成指導。布の裁断からミシン掛けに始まり、最後の脇綴じまで2時間半余りでそれぞれドールを完成させました。中村会員の丁寧な指導の下、完成したドールの出来映えもよく、皆さん、嬉しそうです。

布や綿などドール作成の材料も持ち帰られ、今後のドール作成の力になっていただけるかもしれません。

番組を見て声掛けいただいた方々へ、今後も積極的にドール作成の時間をとり、キワニドール作りを多くの方に関わっていただけるようにしたいと思います。（久我泰博）

～「子ども達のために」の想いを共に～

キワニスクラブは「世界の子ども達のために」という目標を掲げて、米国で設立された民間の奉仕団体です。東京キワニスクラブはアジア太平洋地域初のキワニスクラブとして60年の歴史を誇るクラブです。

病気の子ども達が元気になることを願って「キワニドール」を手作りし、サポートが必要な青少年のために様々な奉仕活動を通じ社会貢献を進めています。

今、世界はさまざまな課題に直面しています。悲惨な戦争は出口が見えず、深刻な政治的分断、貧富の差の広がり、気候変動など課題は山積しています。一方、日本も少子化が加速し国の将来は不透明感が漂っています。

子供たちがどんな環境に生まれ育っても明るく元気な生活ができるように支えたい「子ども達のために」「子ども達と共に」の想いを胸に歩み続けて参ります。

鳥居新会長挨拶



鳥居正男
(2024.11.29就任)

東京キワニスクラブホームページ

<https://tokyo-kiwanis.or.jp>

東京キワニスクラブ

検索



子どもシンポジウムが開催されました

2024.7.22

テーマ 子どもの居場所はいま
~3人のリーダーが実践をもとに語り合う



子ども食堂や寺子屋などの活動に取り組んできた東京キワニスクラブは、60周年を記念して広く外部の方を対象とするオンラインの子どもシンポジウムを開催、130人以上が視聴しました。

政府も子どもの居場所の整備を「こどもまんなか」政策の重要課題と位置付けていますが、その運営はNPOなど民間組織が大きな役割を担っています。

学校でも家庭でもない第3の居場所という点では共通でも、その目的や内容は多様。相対的貧困層やひとり親家庭の子どもなどを対象にした「子ども食堂」や「学習会」、放課後の「学童」や「アフタースクール」、不登校や発達障害の児童を対象を絞ったデイサービスも各地で開かれています。

そこで早くから子どもの居場所事業に取り組んできた3人のリーダーが、それぞれがかかわる居場所の目的や特徴を紹介、その実践を踏まえて、共通する問題意識、子どもの成長につながる工夫、今後の課題などについて語り合いました。(鈴木健司)

+++++ 出演者 +++++



栗林 知絵子
認定NPO法人
豊島子どもWAKUWAKU
ネットワーク理事長



平岩 国泰
放課後NPO
アフタースクール代表理事
新渡戸文化学園理事長



坂本 聡
“現代の寺子屋”~考学会
有限会社考学会
代表取締役



鈴木 健司
モデレーター
一般社団法人
東京キワニスクラブ
2023~2024年度会長

キワニス文庫贈呈

創立60周年記念事業の一環として、奨学金事業で日頃より交流のある児童養護施設7か所に計約200タイトルの図書を「キワニス文庫」として寄贈しました。(矢崎義夫)



杉並学園

あけの星学園



ドールフェスティバル

各地結びオンライン開催 2024.6.29



日本地区との共催で、「東京・目黒」のメイン会場と「鹿児島」「熊本」などのキワニスクラブとを結んで、各地の取り組みを紹介し合いました。鹿児島の病院の小児科看護スタッフや、東京の看護大学教授から病気で入院している子どもたちにとってのキワニスドールの存在についての話が聞けたのも貴重な機会となりました。この日の様子はリモートで44人が視聴。また、東京クラブによる期間限定の見逃し配信で延べ125回視聴されました。(久我泰博)



若草寮の子どもたち

2024.8.14

児童養護施設「若草寮」の児童4名と職員と共に、神保町の「小学館」に伺いました。職員から「出版社でマンガがどうできるのを見られないでしょうか。将来の仕事の参考にしたい児童がいる」と相談があり、実現した企画です。

小学館へ



元「小学館」の小野綾子さんのご尽力により、少女向けマンガ雑誌「Sho-Comi」編集部へ。中田健一編集長と岸副編集長が、実際にマンガ原稿を見せながら説明して下さる神対応。さらに、人気マンガ家さんから直接お話を伺い、子どもたちの目は終始キラキラしていました。館内見学後にも、小野さんにたくさんの質問に答えていただきました。抱えきれないほどのコミックスのお土産を手にした子どもたち。稀有な体験に、興奮しながら帰路についたそうです。

後日、子どもたちの御礼の手紙を受け取った中田編集長は、みんな良い子だったねと。「将来の夢を膨らませる手助けができたなら、こちらとしても嬉しい限りです」とコメントもいただきました。(内丸摂子)



社会公益賞・青少年教育賞 授賞式2024.11.1



恒例の授賞式を学士会館で開催しました。

第58回の社会公益賞で最優秀賞に選ばれたのは東京・墨田区にある特定非営利法人「かぁかのおうち」。この団体は「親子で遊べる子育て広場の開催」「子どもの一時預かり」「英語教室や親子ふれあい体操」など様々な活動に取り組み、妊婦さんや子育て中の親子が安心して楽しく過ごせるような交流の場を提供しています。

第39回の青少年教育賞で、最優秀賞に輝いたのは「ひとつ空の下で」(UNSAM)。茨城県取手市にある複数の高校の生徒達で構成、「子ども食堂への参加・支援」「無料学習教室の提案・参加」をはじめ、様々な子ども

も支援活動を展開し、地域の子どもの健全な育成に貢献するとともに、支援活動にチャレンジする中で自らの成長も追及しています。

優秀賞を受賞した淑徳大学HEARTサークルは、地元の東京・板橋区の祭りやイベントで「子ども向けブースの出店」「手作りヒーローショーの実演」など様々な活動を通じて、地域の子どもの健全な成長に貢献しています。

当日は3つの団体から合計13名が参加し、なごやかで楽しい授賞式になりました。(井上淳)

2024.8.6

夏の子ども食堂



東京立正中学校・高等学校で恒例の夏の子ども食堂を開催。毎日の灼熱の暑さ、最初出足が鈍りがちで心配しましたが、お昼時にはどっど賑やかに子供たちのカレーを楽しん



でくれる声が食堂に響き渡っていました。

今回は、元学士会館大坂総料理長のご指示のもと初めてカレー提供のボランティアにお力を貸していただいたのは「東京イーストサイドホテル権会」の新聞総支配人及び岩崎シェフ。カレーは子どもたちに食べやすいキーマカレー、美味しいと大好評でお代わりする子どもも。春雨サラダ、ゼリーつき。



夏の子ども食堂は、ただランチを楽しんでもらうだけではなく東京立正さんの食堂や教室を使って、子どもだけでも親子でも楽しめるよう缶バッジ、団扇作り、バルーンアート、折り紙、読み聞かせなどのイベントも行い、子どもの中にはたくさんの国旗を描く子どももいて、ちょっとオリンピックムードも満喫。ボランティアを含め80名程のスタッフが子ども達の笑顔を楽しみました。

子どもたちには、サーティワンからアイスクリーム券を、東京立正学園から消しゴムなどをプレゼントされました。ありがとうございます。(雲類鷲孝)



花を植えよう笑顔の寺子屋 (千日紅)



「花を植えよう笑顔の寺子屋」と題して寺子屋では子ども達に「グリーンな社会」に興味を持ってもらいたい、触れてもらいたいと考え、2024年は子ども達と千日紅の育成サイクル(種の整理から花摘みまで)を体験しました。

堀之内妙法寺界限では近隣を千日紅の花で飾り、夏は「千日紅繋和会花祭り」、秋は「千日紅奉納行列」のイベントを開催しています。この地域で活動している繋和会という団体があり、今回、寺子屋のために千日紅の育成サイクルを教えてくださいました。

毎回、10名程度の子どもの参加し、楽しみながら作業をしていました。育成サイクルとして「種の整理」「植ええ」「発芽」「剪定」「植替え」「開花」「花摘み」を経験し、千日紅を開花させ、来年のための種を確保しました。

(雲類鷲孝)





秋のキワニス旅 ～山形(鶴岡・酒田)～

2024.11.23～(2泊3日)



思い出のフォークソング

60周年記念 2024.11.16 チャリティコンサート



秋のチャリティゴルフコンペ

「飯能ゴルフクラブ」2024.11.22



国際懇話会 第100回 を開催

日本経済新聞
本社コメンテーター

秋田 浩之氏を招いて 2024.8.26 in 学士会館



金曜日の例会

第1・3・5週の金曜に学士会館で例会を開催、ランチをとりながら識者の卓話を聞き、会員相互の交流を深めています。最近の卓話の講師と演題は次の通り。

- 馬淵 清資氏 (北里大学名誉教授、2014年イグ・ノーベル賞受賞者) / ニュートンのリンゴ、マブチのバナナ
- 大塚 ひかり氏 (古典エッセイスト、源氏物語全訳者 (ちくま文庫)) / 『光る君へ』をもっと楽しむために
- 加藤 青延氏 (武蔵野大学法学部特任教授) / 中国はどうなるのか
- 淵上 陽子会員 (弁護士)、佐藤 祐子会員 (東京キワニスクラブ会員) / ～「虎に翼」と私たち～
- 岡田 晴奈氏 ((株)ベネッセホールディングス元常務執行役員、サステナビリティ推進本部本部長) / アートによる地域再生・振興の試みについて (アートサイト直島)
- 永田 俊一氏 (信託博物館館長、元預金保険機構理事) / 信託博物館館長、元預金保険機構理事
- 小池 昌代氏 (詩人 小説家) / 人生の質を変える詩の魅力
- 富樂 和也氏 (写真家) / 写真を楽しむちよい足し撮影術
- 水嶋 英治氏 (長崎キワニスクラブ元会長、長崎歴史文化博物館館長) / 長崎キワニスクラブの活動を通して学んだこと —産官学連携の重要性—
- 守屋 由紀氏 (元国連難民高等弁務官事務所広報官) / 世界の難民問題—日本からできること
- 広畑 史朗会員 (警察庁元近畿管区警察局長、東京キワニスクラブ会員) / 新プロジェクトXに出演して～オウム捜査秘話
- 三浦 孝行会員、三浦 眞会員 ((公財)日本相撲協会湊部屋師匠、東京キワニスクラブ会員) / 親方の仕事
- 名越 隆雄氏 (国際キワニス日本地区ガバナー) / 北海道の一キワニアンとしての歩みとグアテマラとの関わりについて

- 【第100回 2024.8.26】
秋田 浩之氏 (日本経済新聞・本社コメンテーター) 「第三次世界大戦のリスクを考える～国際取材の現場から」
- 【第101回 2024.12.9】
垂秀 夫氏 (前中国大使) 「習近平中国」をどう見るか～その内政と外交、そして日中関係～

新入会員紹介

辻本 祐介 (つじもと ゆうすけ)
入会日 2024年10月1日

藤森 靖允 (ふじもり やすみつ)
入会日 2024年12月6日

宇賀神 史彦 (うがじん ふみひこ)
入会日 2025年1月17日

大久保 寧 (おおくぼ やすし)
入会日 2025年1月17日

新入法人会員

株式会社 ニッセン・ワイケイ
代表取締役 小林 康信
(こばやし やすのぶ)
入会日 2024年7月12日

株式会社 マリアス
代表取締役 釜谷 正宏
(かまたに まさひろ)
入会日 2024年7月12日

物故会員

横川 端 (よこかわ ただし) 1984年12月14日入会
・名誉会員 / 2024年12月2日にご逝去されました。

安田 和義 (やすだ かずよし) 1988年9月16日入会
・名誉会員 / 2025年1月3日にご逝去されました。

小島 章伸 (こじま あきのぶ) 1982年7月30日入会
・名誉会員 / 2025年1月13日にご逝去されました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます

事務局便り

学士会館の建て替えに伴って1月から例会会場が変わりました。新しい会場は丸の内にある日本外国特派員協会です。会見に臨んだ数々の有名人、著名人の写真が廊下を飾っています。

重厚な学士会館から現代的な外国特派員協会に、気分一新です。アクセスはJR東京駅、有楽町駅、Metro二重橋前駅、大手町駅などが使え、二重橋前駅からは通路が直結しています。(川原太郎)